東京ジャーミイ金曜日のホタバ
2009年7月10日

忠言－2－

親愛なるムスリムの皆様。今日のフトバでも、先週の続きとして忠言を紹介していきたいと思います。

大切な兄弟姉妹の皆様。全てのことを、アッラーのためだけに行なってください。アッラーゆえに行なわれることは、永遠をもたらすのです。人の批判を怖れないで下さい。アッラーこそ怖れるべき存在なのです。だから性分として持っている怖れの感情は、アッラーを怖れることで対応して下さい。

徳を身につけ、品よくあって下さい。立居振る舞い、話し方など、あらゆる点でイスラームから教えを受けた者らしくあって下さい。品よくあるということは、冷淡であること、誰が何を言おうとそれを受け入れることではありません。

イスラームについて知っていること、実践していることに応じて、イスラームについて言及して下さい。このようにした場合のみ、立派な模範となることができるでしょう。自らの限度を知っておいて下さい。あなた方よりも進んだ状態である人に対し、不正にその人たちを出し抜こうとしないで下さい。よりよく知っている人に仕事を任せることはよいことだと認識して下さい。ムスリムにふさわしいのはうぬぼれや自負心ではありません。自己中心主義に振舞わないで下さい。言われたことに対し、アッラーゆえに耳を傾けて下さい。

独身でいること、独身のまま生きることを考えないで下さい。なぜなら預言者ムハンマドも結婚され、子供を持たれたからです。人がやすらぎを手に入れ、他者と人生を共有できるという点において結婚は大きな役割を果たします。

大切な兄弟姉妹の皆様。年長者に対し敬意を維持してください。タウヒードに逆らっていない限り、両親の言葉を聞いてください。家の清掃、炊事、洗濯まで、全ての家事において両親を手伝うムスリムたち全てを、アッラーがお喜ばれることを私たちは信じています。

イスラームが守ることを義務としている大切なものがあれば、それを守るよう努めて下さい。人の財産、命、名誉、宗教を守るための規則を尊重して下さい。例えば、車を運転する時は交通法規に従うことは善行となります。そうでなければ、アッラーのしもべに害を与えるという罪を犯すことになります。

誰かの命、財産、名誉を付けねらうようなことがあってはいけません。なぜなら命、財産、名誉は守られるものだからです。これらを最もよく守るのがイスラームです。もし、人のものに手を出そうとするなら、預言者ムハンマドがマッカで誰の命にも、財産にも手を出されなかったことを考えてください。

礼拝を、理解し、感じ、正しく行うよう努めて下さい。章句を正しく読み、必要な形で理解できるよう努力して下さい。一つの項目について、一つの章句を見ることでよしとしないで下さい。同じ項目の他の章句も確認しなければ、過ちを犯してしまうこともあるからです。

真実は、大勢の集っているところではなく、クルアーンに見出してください。多勢であっても誤っていることはあるのです。ムスリムであったとしても、集団によって高められ、その神聖さが主張されている人を尊敬しないで下さい。アッラーとあなた方の間に媒介をさしはさまないで下さい。